

上板橋第一中学校 新校舎配置イメージについて

- ・事業者選定プロポーザルの結果、上板橋第一中学校改築基本設計・実施設計委託業務について「株式会社 安井建築設計事務所」を学校長・学識経験者とともに選定いたしました。
- ・今後の基本設計・実施設計は、基本構想・基本計画で検討した「校舎北一体育館東配置案」で進めていきます。

図1.校舎配置比較

| | A:校舎北・体育館東 | B:一棟型北側 |
|------------|--|---|
| 教室階数 | 4階まで(全体は5階建) | 5階建 |
| 平面 | <p>校庭有効面積 約5800㎡ サッカーコート 利用可能 (約75m×50m)</p> | <p>校庭有効面積 約6400㎡ A案と同じサイズだと計画不可</p> |
| 断面 | | |
| 校庭広さ | ○ 既存よりやや広い 約 5800 ㎡ | ◎ 既存より広い 約 6400 ㎡ |
| 校庭形状 | ◎ 広い奥行きが確保可能 | △ 奥行きが浅い |
| 上下移動負担 | ◎ 主に2～4階の3層 | △ 主に2～5階の4層 |
| 線路側へのホール飛出 | ◎ 体育館で隔離確保 | △ 敷地外に飛出る恐れあり |

図2.「校舎北一体育館東配置案」による外観イメージ



校舎配置・周辺環境との調和についてのコンセプト

以下のコンセプトを大切に「上板橋第一中学校改築 基本構想・基本計画」をもとに基本設計を進めていきます。

施設内部や外構計画のコンセプトやプランについては、次回の改築検討会以降にご報告します。

○整形な校庭と、フレキシブルな教室計画を実現する校舎配置 (基本構想・基本計画 P.31 等)

- ・整形な校庭が確保できる配置計画
- ・西側は校舎をセットバック (後退) させて住宅地への日影の影響を軽減
- ・線路側に体育館を配置することで想定外の飛出球が線路に入らないような対策

○地域周辺へ「学校の顔」となる門やアプローチを計画 (基本構想・基本計画 P.25)

- ・地域に親しまれ、明るいイメージを発信できる学校の顔づくり

○地域交流を促進する学校づくり (基本構想・基本計画 P.35)

- ・地域交流の拠点となるように、地域開放や地域連携をする部屋を配置する計画

○石神井川沿いの桜を活かした地域景観 (体育館の有効利用) (基本構想・基本計画 P.24)

- ・石神井川沿いの体育館脇を生徒と地域が交流・活用できる (仮称)「桜テラス」として整備するなど、桜並木沿いに植栽帯を確保し、良好な地域景観を創出

○地球環境に配慮した建築環境・設備 (基本構想・基本計画 P.35)

- ・「脱炭素社会 (ゼロカーボンシティ)」を実現するため施設の ZEB 化をめざすとともに、エネルギー活用等を「見える化」し、環境教育の教材として活用できるように配慮

図3.周辺環境と調和した校舎の配置や外構計画

